

KAINAN EAST ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640



1994-95年度 RI のテーマ

友達になろう Be a Friend



事務局

海南市日方1294 海南商工会議所内
TEL (0734) 83-0800
FAX (0734) 82-7370

例会日

毎週月曜日 12時30分
♣オ1例会のみ 18時30分
於 海南商工会議所4F

会長 角谷 勝司

幹事 山東 剛一
SAA 田中 丈士

会報委員会

◎平尾 寧章 ○花畑 重靖
三木 寛昭 早川 満
金川 龍一 山名 正一

オ 955回 例会 1995年 平成7年5月15日(月) 午後12時30分 於 海南商工会議所4F

1. 開会 点鐘 角谷勝司 会長
2. ロータリーソング 「友達になろう」
3. ゲスト紹介
湯浅 富夫様 (和歌山西RC)
4. ビジター紹介
田伏 為博様 (有田南RC)
丸谷 順正様 (")
中川 定昭様 (")
藤井 正治様 (和歌山東南RC)

和歌山北RC 5/29 → 5/28 PM 6:00~
九州 嬉野 神泉閣
和歌山西RC } 6/3 (出)PM 3:00~
海南東RC } 和歌山ターミナルホテル

5. 出席報告 会員総数70名 出席者数50名
出席率 73.53%
前回修正出席率 80.88%

9. 委員会報告 プログラム委員会 塚本委員長
IMの各リーダーさんに 5月29日の
IMの報告は5分間でお願いします。

6. 会長スピーチ 角谷勝司 会長
本日は和歌山西RCの湯浅様に貴重な体験談をお話いただきますので、よろしく
お願いします。
又、ビジターの田伏様、丸谷様、中川様
藤井様ご苦労さまでございます。

10. ゲスト卓話
「怠けのロータリアンが」
和歌山西RC 湯浅 富夫様
和歌山西RCの湯浅です。

特に報告事項はございませんが、20周年
記念例会が近づいてますので、例会出席を
よろしくお願いします。
山野様、全快お目出度うございます。
このあと、20周年記念宮田副委員長に報
告をお願いします。

20周年記念行事も一緒に開く、仲のよい兄
弟クラブでいつの時もうれしく存じています。
2月末に、式典プログラムの打合せが終
り、談笑の時に宮田さんから海南東クラブ
に「一度こいよ」僕は彼の人柄にひかれて
「ハイハイ」と返事致しました。本日はど
うぞよろしくお願い申し上げます。

7. 20周年プログラム報告 宮田副委員長
皆様にプログラムをおくばりしていま
すが、時間の確認をお願いします。
部長、副部長、会長、幹事、SAAの皆
様は14時集合。一般会員は14時30分集合で
よろしくお願いします。

私は大正13年、子年の生れです。昭和19
年に中部24部隊に入隊し、直ぐ陸軍の航空
部隊に転属し北支に、そして満州へと移動
致し、敗戦後ソ連で捕虜生活5年間の時の
経験です。

8. 幹事報告
○例会臨時変更のお知らせ
串本RC 5/16 → 5/16 PM6:30~
ホテル サンマリン

昭和21年ソ連のマルシャスクのラーゲル
(収容所)での出来事です。厳しい強制労
働と食糧もなく体力もおとろえていま
した。後で知ったのですが、急性虫垂炎で腹膜炎
をおこし苦しんでいた時に、ドイツ軍医に
手術を受けました。収容所には手術器具は
何もなく、ドイツ人将校は近くの町で器具
を探し出し麻酔もなしで手術を受けました。

FOUR WAY TEST 四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

僕を手術してくれたDrの名前をきくと、紙に書いてくれた。大切な紙！自分のお腹の上にわからぬようにしまい込んだ。1ヶ月でようやく立ち上げられるようになり、2ヶ月余りして自分のラーゲルに戻った。

最初に身体検査をされた。その時裸になった時、私が大切にかくし持っていたドイツ人Drの名前と住所を書いた紙は取り上げられてしまった。気になったまま年月は経って行った。

10数年前、私は住金に勤務させていただいておりましたが、その時和歌山ロータリークラブに入れていただきました。その時和歌山RC40周年記念例会があり、講演テーマは「外国から見た日本と日本人」で、講演者はクリストフ・ケンプ博士ということだった。演題に魅力を感じていたので、一寸聞いてみようと思いエスケープしやすい出口の扉の近くに座った。

内容を要約すると、日本列島はみんな景色の綺麗なところだ。山あり海あり、川の流れも風情があり、その四季四季はとてすばらしい。ドイツも良いが、日本の方がとても優っている。こちらに来る前に行った吉野山の桜は美しかった。日本の象徴だ。然し足元をみた時、紙くず、空缶、空瓶が散乱していた。ドイツでは見あたらないことだ…。

話が続き、私はかつてソ連の捕虜だったのです。モスクワの西方でドイツが降伏しても尚戦った戦車部隊です。アフリカ戦線からポーランドを攻めロシア大陸に入った猛虎ロンメル軍団でした。激しい戦闘の後止むなく捕虜となりマルシャンスクに収容された。

ここまで聞いた私はもうエスケープも忘れ聞きいった。同じラーゲルにいた捕虜だ。話がつづき、私のいたラーゲルには日本人の捕虜も沢山いた。ラインパイプの敷設作業の時、狂った日本軍の将校を戸板で縛りお腹のもの、腸を出して又入れた事を思い出します。あの時の日本人将校はどうなった？恐らく生きていないと思います。

私は思わぬ出来事に茫然となりました。ハッと気がつきもう我慢できません。講演の途中でしたが私は立ち上がりました。「私もマルシャンスクの収容所におりました。そしてドイツ軍の軍医に助けられました」彼

は声が出なかった。30数年前の出来事でした。「貴方ユアサさん！」と言われたように思いました。たどたどしい日本語で再び「あなたユアサさん」自分の名前を言う前にDrケンブからユアササンと呼ぶ声。確かに。講演会場は全く困乱の状態となりました。今でもあの時のことを思うと胸がいっぱいになります。

スケジュールの都合でゆっくりケンブさんとは話ができませんでしたが、ケンブさんは「手術の時あなたがあんまり暴れるので、私が手足を押えていたが、あなたのお腹のものをみな出して、みな入れたのも私でしたから、あの日本人はどうなっただろうと気になっていましたが、元気で立派な人になっておられ安心した」と再会をよろこんでくれました。

ヨーロッパ、ロシア、私の死んだウクライナの広野の一地点のことが走馬灯のように走り夢のようでした。2～3日は眠れませんでした。私のお腹に残った大きな手術跡が一生消えないように、ケンブさんのことは一生忘れられません。

私にとって、Drクリストフ・ケンプは命の恩人です。この命の恩人に再会させてくれたロータリークラブも又、私の命の恩人です。

Drケンブの岳父はノーベル賞を受賞された生化学者で、ハイデルベルグのマックス・ブランク研究所の医学研究所長です。Drケンブと共に熱心なロータリークラブの会員なのです。

ニコニコ・米山・BOX

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 山野 明君 | 病気で3ヶ月間休ませていただきました。 |
| 冷水 正雄君 | 夫婦で福井に行きました。 |
| 湯浅 富夫君 | いつもお世話になります。 |
| 塚本 義信君 | 和歌山西の湯浅様をゲストにお迎えしました。 |
| 深谷 政男君 | カナダ、アメリカに2週間出かけました。 |
| 岡田 雅晶君 | 2人目の孫が誕生しました。 |
| 西峰 義文君 | 親子クラブ会長を無事に終りました。 |
| 角谷 勝司君 | 湯浅様ご苦労様です。 |
| 田中 丈士君 | 上中君にIMでお世話になりました。 |
| 宮田敬之佑君 | 20周年記念例会よろしく。和歌山西RC湯浅さんご苦労さん。 |